

## SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	高田 紳也	学校名	習志野市立谷津南小学校
実施学年	3 学年	教 科	算数
単元名	小学校 3 年算数「重さ」		

### 《学びを深めたいポイント》

- ・前時までに学習した重さの単位であるkg(キログラム)やg(グラム)を活用して、重さの加減計算(たし算やひき算)の仕方を考える学習を行った。問題文を読み取り、式を立てた後、どのように答えを求めればいいのか、計算の仕方を考えさせる。
- ・発表ノートに自分が考えた重さの計算の仕方を記入させたり、他の児童の計算の仕方を聞いたりすることで重さの計算は色々な仕方で求めることができることを気付かせる。
- ・重さの計算をどのようにすればよいか分からない児童には、長さやかさの計算の学習で行った仕方を共有することで、重さの計算も既習の内容で自力解決することができるということに気付かせたい。

### 《SKYMENU 活用のポイント》

まず、教科書から問題文を読み取り、式をノートに書かせた。書いた式からどのように計算すればよいか考え、発表ノートにまとめさせた。まとめる際に、重さの計算の仕方を考えるのが難しい児童には、2年生で行った長さやかさの計算でどのように考えて計算したか考えさせた、別の発表ノートを提示し、まとめることができるようにした。

自分の考えを発表ノートにまとめた後、スライドショーで提示して、計算の方法に気付かせることともに、どのように工夫して計算したかを発表させた。

児童は、自分がまとめた重さの計算の仕方(発表ノート)をテレビに映し、発表することで、発表した内容を視覚的に伝えることができた。

### 《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	<p>I 問題をつかむ。</p> <p>鍵盤ハーモニカの重さを測ると800g、そのケースの重さを測ると600gでした。</p> <p>鍵盤ハーモニカをケースに入ると、全体の重さはどれだけになりますか。</p> <p>T 鍵盤ハーモニカをケースに入れた重さを求める式はどんな式に</p>	<p>・自分が考えた計算の仕方をまとめさせるための「発表ノート」を提示する。</p> 	<p>・計算のやり方の欄に、自分が考えた重さの計算の式と答え、途中計算を入力したり、筆算を書いたりさせるようにする。</p>

	<p>なりますか。</p> <p>A 800g+600g</p> <p>T 800g+600gの計算をどのようにすれば重さは出せる。</p> <p>A 0を隠して、8と6を計算する。</p>						
<p>展 開</p>	<p>2 発表ノートに自分の考えをまとめる。</p> <p>比較検討</p> <p>○発表ノートを活用して、児童が考えた色々な重さの計算のやり方を見る。</p> <div data-bbox="159 1102 592 1263" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(1) 800g (2) 8+6=14</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right; padding-right: 20px;">+600g</td> <td>00を14につける</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">1400g</td> <td>1400g</td> </tr> </table> </div> <p>○発表ノートを活用して、自分が考えた重さの計算のやり方を全体に発表する。</p>	+600g	00を14につける	1400g	1400g	<p>・重さの計算の仕方を考えるのが難しい児童には、2年生の長さやかさの計算で、どのように計算を行ったか発問した上で、やり方を確認しながら発表ノートにまとめる。</p> <div data-bbox="628 631 1066 869" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>計算のヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① kg⇒gに直す</li> <li>② 同じgを+</li> <li>③ 筆算</li> </ul> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em; font-weight: bold;">計算のやり方</p> </div> <p>・テレビ画面に児童がまとめた発表ノートをスライドショーで見せる。</p> <p>・テレビ画面に児童がまとめた発表ノートをスライドショーにして見せる</p>	<p>・児童に2年生の学習(長さやかさの計算)経験からどのように工夫して計算すればよいか発表させ、ヒントの欄に入力する。また、ヒントを基に、計算のやり方をまとめることができるようにする。</p> <p>・児童が考えた重さの計算の仕方を、スライドショーを活用して見せることで、自分が知らなかった重さの計算のやり方に気付くことができるようにする。</p> <p>・自分が考えた重さの計算のやり方を、発表ノートを活用して発表することで、発表を聞く児童に分かりやすく伝えることができるようにする。</p>
+600g	00を14につける						
1400g	1400g						
<p>ま と め</p>	<p>○振り返りをする。</p> <p>A 重さの計算は、長さやかさの計算のように筆算を活用して計算できる。</p>	<p>・学習して気付いたことを「気付きメモ」に入力し、発表ノートに貼る。</p>	<p>・学習してわかったことや気付いたこと、知りたいことを発表ノートに貼ることで、次の学習の見通しにつなげるようにする。</p>				

《実践を振り返って》

- ・発表ノートやスライドショーによる発表は、児童が視覚的に学ぶことで着実に理解することができた。
- ・児童は、重さの計算の仕方の発表やスライドショーを通して、色々な計算の仕方があることに気付くことや新しい考え方を見つけるきっかけとなった。また、他の人の発表から自分の考え方を見直すことができた。
- ・今後は、かけ算の筆算やわり算の学習で、どのように工夫し、計算したか発表ノートにまとめたり、全体発表やスライドショーを活用したりすることで、児童が着実に理解できるようにつなげていきたい。